

NGO かながわ国際協力会議 結果報告（平成 20 年 11 月 24 日）

日程：平成 20 年 11 月 24 日（月）

KOCV 出席者：高野

11 月 24 日（月・祝）、NGO かながわ国際協力会議委員の委嘱状を松沢知事から頂いてきました。私は神奈川に来て 3 年目なのですが、今回初めて知事にお会いしました。

午前中に知事との懇話会や第 1 回の会議が行われ、午後は「外国籍県民かながわ会議・NGO かながわ国際協力会議 10 周年記念シンポジウム」～かながわの多文化共生の歩みと今後の展望... に参加しました。

そもそも、NGO かながわ国際協力会議とは何たるものか？ 本日いろいろな方からの情報をつなぎ合わせて、大分概要を掴む事ができました。全国的にも外国籍住民の事を市民が真剣に討議でき、政策提言ができる場は無いのではないかと思います。出来る限り会員の皆様への情報の共有と意見交換を図っていきたくと存じます。なお、第一期の委員には KOCV の元会長である岡山 OV が委員をしていました。

会議では大きく分けると「外国籍県民支援」「途上国支援」「開発教育・国際理解教育」三つの部会がありますが、前回第 5 期では部会に分かれずに全員で協議を行ったようです。おそらく今回も委員の人数が 8 名なので、部会に分かれない方が良いかと思いますが、次回の検討になります。

委員長は「地球の木」の丸谷さん、副委員長は「大和日本語教室」の酒井さんに決定しました。不肖私はとりあえず ML の管理を行います。

委員の皆さんはそれぞれの分野で経験も実績もあり能力も高い方が多いという印象を受けました。

次回は外国籍県民かながわ会議と調整の上、1 月 12 日の午前に行われる予定です。（外国籍は午後を予定）

本日はいろいろな方の話を聞く事ができましたが、医療通訳や住まいのサポートセンター棟実現された提言もありますが、実施されない提言も多くあるようです。これは、予算的な事もあるでしょうし、様々な要因が考えられます。せつかく任期が 2 年になるので、対症療法的に問題を処理していくのではなく、じっくりと問題の根本を見極めて県の政策として取り上げやすい提言を行っていきたくとを考えます。

特に、これからの日本社会を考えると内なる国際化もそうですが、「内なる開国」が必要になってくると思います。一過性のものでなく継続できる事を判断材料にして、考えを明確にまとめていきたくと思います。